

科学新聞

週刊

(金曜日発行)

発行所 科学新聞社

本社 (〒105-0013)

東京都港区浜松町1-8-1

電話 03-3434-3741

FAX 03-3434-3745

mail:edit@sci-news.co.jp

振替 00170-8-33592

購読料 1ヵ月

2,100円(消費税込)

奈良先端、青学、横浜国立大

光応答分子材料で協力

研究・教育推進、世界戦略も

奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)と青山学院大学(AGU)、横浜国立大学(YNU)は、光応答分子材料分野等での研究推進、教育連携、国際連携を推進する包括協定を締結した。

3月1日には、河合壮・NAIST教授、阿部二朗・AGU教授、横山泰・YNU教授らを中心にした研

究グループが「光応答分子材料研究分野における大学連携アライアンスネットワーク」を設立。

研究対象の光応答分子材料は、サングラスやLSIなどの電子部品の製造プロセスで利用されているほか

光エネルギーを直接利用して物質の性質を大きく変えることが可能であることから、高効率省エネルギーの記録媒体などへの利用も期待されている。

河合教授らは光反応効率100%を示す極限感度フォトクロミック分子の開発、阿部教授らは高速フォトクロミック化合物の研究、横山教授らは高立体系選択性フォトクロミック化合物の研究などで世界を先導している。今後は共同で、記録材料としての応用展開以外に、生体への応用展開を目指した分子材料開発、実時間ホログラムの開発、自動調光材料の開発を進めていくという。

ネットワークの設立で、3大学の研究者や大学院生の共同研究、共同特許申請を迅速に行うことができ、基礎研究から応用研究まで相乗効果を期待できる。

現在、海外のアライアンスネットワークとの提携に向けた交渉を行うなど、世界戦略も着々と進んでいる。